

## 【学級活動】第6学年 題材名「読書と私たちの生活」

### 1. 活動の目標

ミニ・ビブリオバトルを通して、読書の楽しさが分かり、読書領域を広げ、豊かな読書生活を送るための計画を立てることができる。

### 2. 児童の実態

本学級児童は、9月上旬に国語科の単元である『私と本』で「ブックトーク」を、また9月下旬に「ミニ・ビブリオバトル（ビブリオバトルを簡易ルールに変更したもの）」をそれぞれ1回ずつ行った。普段あまり読まないジャンルの本を知ったり、友達の考えにふれたりしたことで、読書への意欲が高まったなどの感想が挙げられた。事前に行ったアンケート結果では、

＜中略＞

現在、国語科『イーハトーヴの夢』で、「やまなし」の作者である宮沢賢治の生い立ちや経歴、考え方を深く学習しており、宮沢賢治のその他の著書や、宮沢賢治と同じ時代に生きた作家に関心を高め、それらの小説を読むことに意欲的な態度を示している。

### 3. 活動計画 【学級活動 (3)ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用】

#### 〈事前の活動〉 問題を発見・確認する

- ・「読書と学校図書館の利用に関するアンケート」を行い、児童・学級の問題を確認する。また、現時点での図書館本の貸出数を確認させ、個人・学級が抱える共通の課題を設定する。
- ・学校図書館を読書や自主的な学習に活用している児童が少ないことから、図書館の持つ機能を知り、有効に活用していくためにどうすればよいかを考える。
- ・「ビブリオバトル」を紹介し、読書機会を増やし読書領域を広げるための手立てを知る。
- ・アンケート結果や今後の活動計画表などを掲示し、児童の問題意識を高める。

#### 〈本時の活動〉 ミニ・ビブリオバトルを行い、今後の目標を立てる

- ・国語科『イーハトーヴの夢』との関連で、宮沢賢治や小川未明他、宮沢賢治と同じ時代に生きた作家の本を選定し、ミニ・ビブリオバトルを行う。また、ミニ・ビブリオバトルを通して、読書への考え方がどう変わったかを振り返り、今後の読書生活をどのようにしていきたいか具体的な目標や計画を立てる。

#### 〈事後の活動〉 目標実現に向けた実践、振り返りをする

- ・自分が意思決定した目標の実現に向け、休み時間や授業で学校図書館を活用していく。
- ・定期的に学校図書館の利用回数や本の貸出数を確認したり、読書日記をつけたりするなど、自身の読書と学校図書館への関わり方の変容を振り返らせる。
- ・今後も定期的に開催されるミニ・ビブリオバトルに向け、読書意欲を高める。

4. 司書教諭（図書主任）との連携及び使用図書等

○司書教諭との連携・打合せ

・5月 学年ごとに、各教科授業で使用可能、関連性のある図書を選出し、購入。

○個人読書用図書：宮沢賢治、小川未明他著書

5. 本時のねらい

ミニ・ビブリオバトルを通して、読書への関心を高め、主体的に読書をしようとする態度を育てる。

6. 本時の展開

学習活動 ○：留意点 ☆：子供の意識	時間	使用する図書等
<p>1 課題を把握し、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて：本の世界を広げ、今後の読書計画を立てよう。</div> <p>○事前のアンケート結果をICT機器で掲示し、気付いたことを発表させることで、読書に対する現状での問題点を把握・共有させる。 ☆本を読んでも、同じジャンルに偏っているな。 ☆学校図書館を利用している人は少ないな。</p>	3分	
<p>2 問題点をさぐる。</p> <p>○一度行った「ミニ・ビブリオバトル」の感想を発表させることで、読書機会・領域を増やすための手段として効果的であることを再確認し、活動への意欲を高めさせる。 ☆どんな本が紹介されるのかな。 ☆しっかり聞いて、面白そうな本を見つけたいな。</p>	3分	
<p>3 「ミニ・ビブリオバトル」を行う。</p> <p>○4人1組での小グループの活動にすることで、全員が参加意識を持って取り組めるようにする。 ○選んだ本が違うものになるようにグループ分けをすることで、より多くの本に触れられるようにする。 ○司会者・計時係などの役割を決めておくことで、円滑に進行できるようにする。 ○感想用紙に、紹介者・紹介本を記載しておくことで、感想記入に時間をかけられるようにする。 ※5人組の班は、質疑応答と記入時間を変更して行わせる。 ☆面白そうな本だな。 ☆この本を借りて読んでみたいな。 ☆上手に紹介して、チャンピオンになりたいな。</p>	30分	<p>〈使用図書〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀河鉄道の夜</li> <li>・注文の多い料理店</li> <li>・風の又三郎</li> <li>・猫の事務所</li> <li>・二十四の瞳</li> </ul> <p style="text-align: right;">他13冊</p>

学習活動      ○：留意点    ☆：子供の意識	時間	使用する図書等
<p>4    ミニ・ビブリオバトルを振り返り、今後の目標を立てる。</p> <p>○これまでのミニ・ビブリオバトルを振り返らせることで、自身の読書に対する関心の変容を感じとらせる。</p> <p>○今後、図書館をどのように使用していきたいか、また、どんな本を読んていきたいかなど、具体的な目標を立てるよう指示することで、事後の活動で自己評価がしやすくなるようにする。</p> <p>○参考となる児童の目標を全体に共有することで、目標立てができない児童でも書きやすくなるようにする。</p> <p>☆面白そうな本があったから、今度図書館で借りてみよう。</p> <p>☆ミニ・ビブリオバトルを通して、もっといろいろな本を読んてみたいと思うようになったな。</p> <p>☆以前より、読書に対する興味が高くなったな。</p> <p>☆これからは、週2回は図書館で本を借りるようにしよう。</p> <p>☆私も面白い本を紹介するために、1か月に3冊以上は本を読みたいな。</p>	9分	

# 「私と読書」 自己評価シート

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

〈ビブリオバトルの感想〉




目 標	評 価		
	◎:できた ○:もう少し △:できなかった		
例) 読んだことのないジャンルの本を月1冊読む。(など具体的に)	1 2月	1月	2月
1.			
2.			
3. 1週間で_____回、図書館に行く。			
4. 1週間で_____時間読書をする。			
5. 1ヶ月で_____冊、本を読む。			

〈振り返り〉

12月	
1月	
2月	

## 7. 授業実践のまとめ

### 〈写真①〉 自分の本の紹介



### 〈写真②〉 紹介された本についての質疑応答



### 〈写真③〉 ミニ・ビブリオバトル用ワークシート

6-2 第 ② 回ミニビブリオバトル

名前 \_\_\_\_\_

	名前	本の題名	ひとこと感想	一番読んでみたい本に○をつける
ア	1	_____	_____	
イ	2	_____	_____	
エ	3	_____	_____	
オ	4	_____	_____	

1. 本の紹介 (3分)  
2. 質疑応答 (質問タイム) 1分30秒  
3. 感想記入 (30秒)  
4. チャンプ本 (一番読みたい本) を決め、票を取る。

※金魚投票のまで、1~3の票り越し  
※時間厳守 (計時係が確認)

### 〈写真①~③〉

- ①司会を中心に、ワークシートの手順に従って活動を進める。
- ②紹介で気になったことや、知りたいことなどを質問する。
- ③発表と質疑応答をもとに、感想を記入し、最も読みたい本を選出する。

### 〈写真④・⑤〉 自己評価ワークシート

〈ビブリオバトルの感想〉

紹介を聞いた本が、また読んでみたい本と、たまたま出会った本と、興味をもたし、その本を読んだこと、初めて読む本が選んで面白かったと思いました。

自分が本を紹介することで、その本の良さがさらに分かりました。

---

目 標	評 価		
	12月	1月	2月
例) 読んでいないジャンルの本を月1冊読む。(など具体的に)			
1. 紹介してもらった人と同じ作者さんの本を読む。			
2. 読んでいない小説の本を1冊読む。			
3. 1週間で 1 回、図書館に行く。			

〈ビブリオバトルの感想〉

友達の発表を聞いて、いままでに手にとったことか、なかなかなかったジャンルの本とか、新しく手にとって読んでみたいと思いました。本がさらさらした私でもビブリオバトルをして本に興味をもつたし好きになつたような気がしました。

---

目 標	評 価		
	12月	1月	2月
例) 読んでいないジャンルの本を月1冊読む。(など具体的に)			
1. 小説を1週間に3冊読む。			
2. 歴史の本を1週間に2冊読む。			

### 〈授業の振り返り 児童の感想・目標〉

- ⑧・全く知らない本なのに、友達の発表を聞いてその本が好きになった。
- ・最初は大変だと思っていたけど、いろんな本に出会ううちに、楽しくなった。
- ⑨・まだ読んでいないジャンルの本を1ヶ月で1冊読む。
- ・友達からおすすめの本をもっと聞いて読む。
  - ・1週間で、図書館に3回以上行く。
- など